

JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター
がん相談支援センター 広報誌

こすもす

2025. 冬号

Vol.11

2025年2月発行

Contents

- 「放射線治療による緩和ケア」
 - ・放射線治療でがん起因する様々な症状を緩和
 - ・放射線治療の実際
 - ・緩和照射は1回でもできます
- インフォメーション



放射線治療でがん起因する様々な症状を緩和

佐久医療センター 放射線治療科 大久保 悠
がん放射線療法看護認定看護師 田中 まり



放射線治療は、手術、薬物療法とならぶがんの3大治療法の一つです。手術と同様に局所に対する治療ですが、手術のように臓器を取り除くことなく体の外から放射線を当てて治療を行います。

放射線治療の目的には、がんを治すための根治的照射と、がんによる様々な症状を緩和するために行う緩和射があります。がんの進行、転移により痛みや出血、狭窄といった症状をひき起こすことがあり、このような症状は患者さんのQOLを低下させる要因となります。がん起因する様々な症状に対して放射線治療を行うことで症状を緩和することができます。



どのような症状に有効？

緩和的放射線治療の代表例として、骨転移に伴う痛みに対する疼痛緩和があります。一般的に、7～8割の患者さんで疼痛の軽減または消失が得られます。また骨転移により骨折や麻痺を起こすと患者さんのQOLは著しく低下する可能性があります。放射線治療を行うことで麻痺や骨折を予防することができます。

ほかに、脳転移による頭痛やけいれん・麻痺症状、胃がん・大腸がんや子宮がんなどによる出血症状、食道がんによる狭窄症状（飲み込むときのつかえ感）、肺がんや肺転移による咯血や気道狭窄症状（息苦しさ）、進行した乳がんによる潰瘍形成（出血・におい症状）など、そのほかにもがんの進行に起因する様々な症状を、放射線治療を行うことによって和らげることができます。



放射線治療の適応があるか迷ったときは

放射線治療の適応に迷う場合には、連携室を通じて紹介状のみで、あるいは直接お電話で、受診予約をする前にご相談（事前相談）していただくことも可能です。患者さんから受診のご希望があるときには地域医療連携室を通じて予約の調整させていただきますので、当院地域医療連携室までご連絡ください。

また、日本放射線腫瘍学会より『緩和的放射線治療普及のための好事例集』や『緩和的放射線治療 地域連携モデル』が出されていますのでそちらを参考にされてもよいでしょう。

緩和的放射線治療 地域連携モデル 事前確認チェックシート



日本放射線腫瘍学会ホームページより引用

事前確認チェックシート項目

- 原疾患（+推定される予後の見立て）
- 全身状態（Performance Status：PS）
- 疼痛の部位と程度、鎮痛薬の使用状況（レスキュー薬の有無）
- 最近の画像検査の有無（数か月前のCTでも可）
- 画像検査があれば病変と疼痛の部位の関連（責任病変の同定）
- 治療時の照射体位（通常は仰臥位）での安静保持可能時間
- 外来通院の可否（1回から数回）、あるいは入院の要否
- 外来来院方法（自分で・家族の送迎・病院の送迎 など）
- 過去の照射歴
- 当日照射（即日照射）の場合、数時間の待機時間が可能かどうか

今すぐ使える緩和照射！
緩和的放射線治療普及のための好事例集
(PDF版)



放射線治療の実際

緩和照射の流れ

照射前

1

放射線治療医が診察します。



2

看護師が患者さんへ説明します。



3

治療計画用CTを撮影し、照射基準となるしるしをつけます。



4

CT画像をもとに放射線治療医が治療計画を作成します。



照射当日

5

治療台の上に横になり、10～15分ほど姿勢を保っていただけます。



6

計画に沿って治療を進め、副作用なども含めて経過を観察します。

治療期間中もなるべく普段通りの生活を心掛けましょう。



治療を始めるにあたって、現在の患者さんの症状を確認します。症状の原因となっている箇所を確認し、放射線治療の回数やいつから開始するか患者さんやご家族と相談の上決めていきます。

治療に伴う副作用について医師から説明を行ったあと準備を進めていきます。看護師から日常生活上の注意点や、治療を受けていただく時のながれについてオリエンテーションを行った後、治療計画用CTを撮影します。

治療は、治療計画を作成したのち翌日から2日後をめどに開始できます。患者さん、ご家族のなかには、当日に放射線治療が行えると思われて来られる方もいらっしゃいます。放射線治療前には必ずCT撮影と治療計画の作成がありますので、同日に治療を受けることは難しいことを事前に伝えておくと流れがイメージでき良いでしょう。(医師が緊急と判断する場合には当日照射を行うこともあります。半日程度お時間をいただきます)

緩和照射を受けるうえで、大切なことは患者さんが安全・安楽に治療を受けられるよう支援することです。放射線治療では、数分から15分程度の間治療台の上で安静にしておく必要があります。また姿勢は仰臥位で行います。治療の部位によっては、両手を挙げた姿勢で行うこともあります。患者さんによっては、このような姿勢で痛みや息苦しさが出現する方もいます。看護師や技師がなるべく楽な姿勢をとれるよう援助いたします。患者さんが安楽に治療を受けられるよう事前に鎮痛剤を使用することもあります。治療計画CT時から楽な姿勢が保持できるよう、鎮痛剤を持参してきていただくことによりスムーズに準備が行えます。

緩和照射は1回でもできます

従来の緩和照射は10回(2週間)が標準的な治療回数でしたが、現在は5回(1週間)、1回(1日)で行うことも多いです。病状やその後の治療方針、通院手段等により回数を検討します。

骨転移の疼痛緩和の場合、治療回数による効果の違いはないというエビデンスもでています。通院が大変であったり、体調が不安定な患者さんも多いので、柔軟に対応できることも放射線治療の強みの一つです。



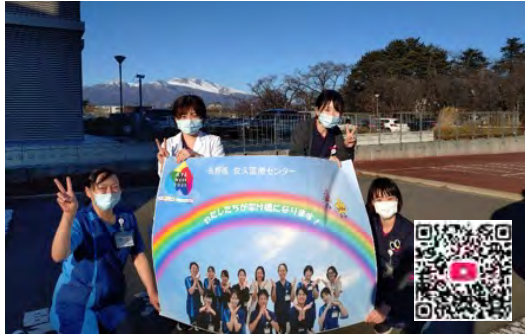
筆者の田中まりさんは前列右から3人目

お問い合わせ先

佐久医療センター 地域連携室
TEL 0267-88-7316 (直通)
FAX 0267-88-7248

～インフォメーション～

2025年「AYA Week 2025 ～知ろう、一緒に～」
 3月7日(金)～3月14日(金)
 AYA世代(15～39歳)の“がん”の
 「今まで」と「これから」を考える一週間。



AYA世代がん患者応援フラッグ

佐久医療センター ふれあい
 ギャラリーにて、AYAがん
 患者さんのサポートチーム
 「AYAサポートチーム」の
 紹介をします。

お問い合わせはこちらまで

【事務局】佐久総合病院佐久医療センター がん診療センター
 電話：0267-62-8181
 Eメール：gan-kyo10@sakuhp.or.jp 篠原・高見澤



就労相談会

～治療と仕事の両立に関する様々な困りごと～

社会保険労務士による相談会

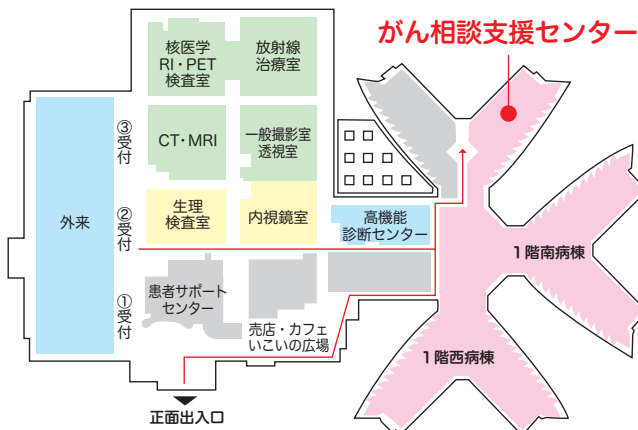
ハローワーク長野による就職相談会
 オンラインでの相談も承ります。

治療と仕事の両立支援相談会

ご相談・お問い合わせは
 がん相談支援センター
 まで



佐久医療センター 1階平面図



がんサロン「もくらん」今後の予定

開催日時：毎月第4木曜日 13:30～15:00
 場所：佐久医療センター 文化交流室
 (参加予約不要)

- 2月27日(木) 語り合い
- 3月27日(木) ミニミニ学習会
 「鍼灸師によるツボのはなし」と語り合い

お問い合わせは「がん相談支援センター」
 (直通 0267-88-7184)まで連絡をいただくか、
 佐久医療センターのホームページでご確認ください。

ご相談・お問い合わせはがん相談支援センターまで

編集後記

“奇跡の9連休”とも言われた年末年始、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。感染症の蔓延により、羽をのぼすとはいかなかった方も多かったかもしれませんが、私は、昨年元旦の能登半島地震を思い、まず穏やかな新年を迎えられたことに安堵しました。

とはいえ、実は避難準備に疎い我が家。政府の地震調査委員会が、南海トラフ沿いでマグニチュード(M)8～9級の地震が30年以内に起こる確率(30年確率)をこれまでの「70～80%」から「80%程度」に引き上げたそうです。非常時の対応についてきちんと考えておかななくてはと思っています。

ちなみに、なんと2025年～2026年にかけての次の年末年始も今回と同じ曜日の並びとのこと。奇跡の9連休再来となる方がおられるかもしれませんね。

今年一年が皆さま方にとりまして心豊かな一年となりますように



JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター

がん相談支援センター

☎0267-88-7184